

令和2年 第2回

# 戸田市教育委員会定例会

令和2年2月13日（木）午前9時30分

戸田市役所3階教育委員室

戸田市教育委員会

## 第2回教育委員会（定例会）次第

1 開会

2 前回の会議録の承認

3 教育委員提案 別添 資料No.1のとおり

4 報告事項 別添 資料No.2のとおり

5 議事

ページ

(1) 議案

議案第 8号 戸田市教育委員会表彰について……………当日配付

議案第 9号 財産の取得について……………当日配付

議案第10号 令和2年度当初戸田市立小・中学校教職員の人事異動（案）について  
……………当日配付

6 その他

(1) 次回の教育委員会の日程（案）

令和2年3月17日（火）午前9時30分～

(2) その他

7 閉 会

財産の取得について

小学校教師用指導書として、下記のとおり財産を取得するものとする。よって、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年条例第9号）第3条の規定により、議会の議決を求める。

記

- |   |       |   |
|---|-------|---|
| 1 | 取得財産名 | 小学校教師用指導書   |
| 2 | 納入場所  | 市指定場所   |
| 3 | 仕様内容  | 小学校教師用指導書 1,538組                                  |
| 4 | 金額    | 金35,106,170円<br>(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 金3,191,470円) |
| 5 | 納入期限  | 令和2年4月8日  |
| 6 | 契約者   | さいたま市浦和区仲町二丁目3番20号<br>株式会社須原屋<br>代表取締役 高野 隆       |
| 7 | 契約方法  | 随意契約  |

議案第9号参考

小学校教師用指導書概要

1 概要

学習指導要領の改訂に伴い、令和2年度から市内小学校において新しい教科用図書を使用するため、教師用指導書の購入を行うものである。

2 仕様

教科別内訳

(金額は、消費税及び地方消費税の額を含む。単位円)

教科等	組数	金額
国語	272	7,480,000
書写	10	344,300
社会	227	2,923,800
地図	10	143,000
算数	334	7,531,590
理科	182	4,241,600
生活	99	1,742,400
音楽	173	3,774,980
図工	60	1,980,000
家庭	20	528,000
保健	40	968,000
英語	51	1,666,500
道徳	60	1,782,000
合計	1,538	35,106,170

# 教育委員提案

令和2年第2回教育委員会(定例会)

令和2年2月13日(木)

戸田市役所3階 教育委員室

# 1 教育委員提案

ページ

- ① 研究委嘱の在り方及び成果について（仙波委員）…………… 1  
（教育政策室）
- ② 戸田市教育委員会における「教育政策シンクタンク」について（土肥委員）…………… 6  
（教育政策室）

## 令和元年度委嘱

新学習指導要領の全面実施を見据え、本市の教育課題について特に意義ある研究を助成。教員の資質向上を図るとともに、本市教育の充実・発展に資する。

※「戸田市教育委員会研究委嘱に関する要項」に基づいて行う。

＜研究領域＞ ※研究主題については、学校で定める。

(1)各教科等及び教育課程全般に関わること

(2)市教育委員会が委嘱希望を求める研究領域

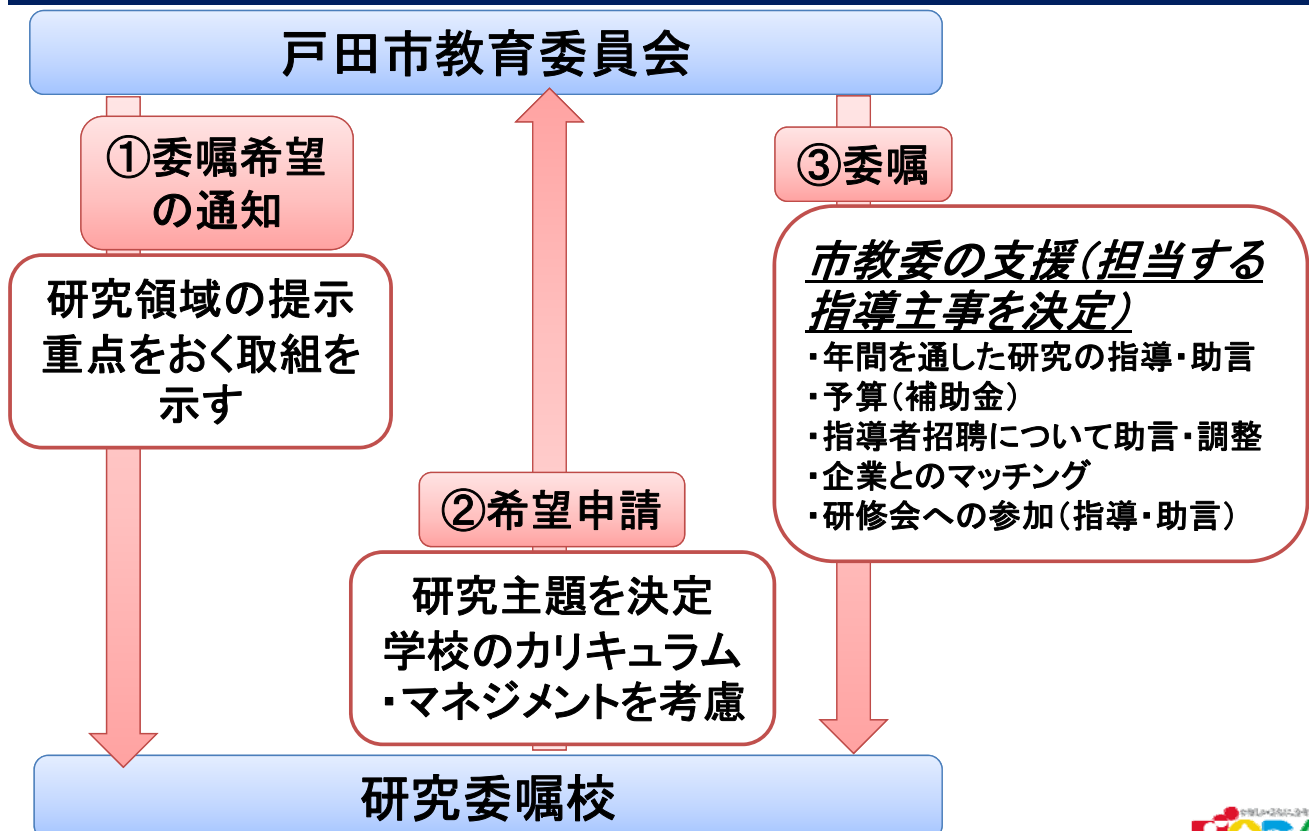
①PEERカリキュラム、セサミストリートカリキュラムに関すること

②PBLに関すること

※(2)については、(1)と併せて研究することも可能。



# 研究委嘱の在り方について



# 研究委嘱の成果について

## 教員の指導力の向上

指導主事や企業等の専門家が関わり授業を組み立てたり授業後に参観者から指導を受けたりすることで教員の指導力向上につながる。

## 児童生徒の学力の向上

新しい学びの取組や効果的な働きかけにより、児童生徒の学力を伸ばすことにつながる。

## 研究成果の共有

市内の学校間で研究成果の情報を共有することで、自校のより精緻なカリキュラム・マネジメントにつながる。

## 学校の組織力の向上

教職員にそれぞれの役割を与えることで、力を発揮し、互いに認め合えるチームを創ることにつながる。特に、リーダー格の教員を発掘したり、育てたりすることができる機会となっている。

## 学校研究が学校経営・授業改善の要



# 研究委嘱の成果について

## 戸田南小学校 <プログラミング>

論理的に思考し表現する能力の育成  
(プログラミング的思考を取り入れた新しい学びの実践)

### H28.3 市教委が株式会社アーテックと戸南小をマッチング

アーテックと  
共同研究

教材の提供  
事例の提供



研究の幅が広がり、  
深まりが増す。



研究主任を筆頭に  
自主的に動く教員  
が増える

研究発表会で  
成果を発信

他校でプログラミン  
グの事例を共有





# 研究委嘱の成果について

## 喜沢中学校

「自らの未来を力強く切り拓く生徒の育成」  
～主体的・対話的で深い学びの追求～

H31.4 市教委が指導者：共栄大学 濱本 一 教授とマッチング



研修会での指導



指導主事による指導案検討

学校訪問等でも教科を問わず好事例が出てくる

研究発表会で成果を発信

自ら市教委に指導を受けに来る教員が出る



# 研究委嘱の成果について

## 戸田第二小学校 <PBL>

( ~ 動く ~ )

インテル株式会社 及び Intel Teach Program  
マスターティーチャー との連携



カリ・マネが充実

授業の質が向上



学校の組織力が向上



研究内容がより伝わる発表会へと進化

PBLのひろがり



## 今年度の研究委嘱校について

学校名	研究教科等	研究の柱	産官学民の連携
戸一小	プログラミング教育	豊かな関わりの中で、自ら学ぶ児童の育成	Intel株式会社、アーム（株）、（株）ベネッセコーポレーション
戸二小	全教科等（生活科・総合的な学習の時間）	PBL（プロジェクト型学習）	Intel株式会社、文部科学省
新曽小	生活・総合的な学習の時間（セサミストリートカリキュラム）	教科横断的な教育課程の編成	（株）キャリアリンク、フューチャーインスティテュート（株）<セサミストリートカリキュラム>、早稲田大学
美谷本小	算数	主体的な学び、算数教育	共栄大学、東京学芸大学
美女木小	外国語・外国語活動	最先端の外国語教育 遠隔授業	文部科学省、香港日本人学校
戸南小	総合的な学習の時間（プログラミング教育）	プログラミング教育	（株）情報通信総合研究所 （株）アーテック
新曽北小	図画工作	思考力・判断力・表現力を発揮し、思いを伝え合う児童の育成	国立教育政策研究所（文部科学省）
美笹中	全教科等	多面的な教育活動による学力向上 N I E（Newspaper in Education）を活用	上越教育大学
喜沢中	全教科等	～主体的・対話的で深い学びの追求～	共栄大学、東京大学

## 現在継続中の研究委嘱について

学校名	研究教科等	研究の柱	産官学民の連携
笹目小	国語	リーディングスキルの育成	国立情報学研究所
戸田東小	全教科等	PBLの推進	（株）キャリアリンク
喜沢小	特別活動	主体的・対話的で深い学びのある特別活動	国立教育政策研究所（文部科学省）
笹目東小	全教科等	リーディング・スキルを出発点とした見方・考え方	国立情報学研究所
芦原小	生活科・総合的な学習の時間	「コミュニティ・スクールのカ」を生かした探求的な学習	埼玉大学教育学部附属小学校
戸田中	全教科等	気づき・考え・深める特別支援教育	（株）LITALICO
戸田東中	全教科等	PBLの推進	（株）キャリアリンク
新曽中	総合的な学習の時間	PBLを取り入れた実践	（株）ベネッセ、北陸大学
笹目中	全教科等	主体的・対話的で深い学びの実現	聖心女子大学

# 令和2年度の研究委嘱について

## 令和2年度委嘱

新学習指導要領の全面実施を踏まえ、本市の教育課題について特に意義ある研究を助成。教員の資質向上を図るとともに、本市教育の充実・発展に資する。

※「戸田市教育委員会研究委嘱に関する要項」に基づいて行う。

＜研究領域＞ ※研究主題については、学校で定める。

(1)各教科等及び教育課程全般に関わること

(2)市教育委員会が委嘱希望を求める研究領域

①PEERカリキュラム、セサミストリートカリキュラムに関すること

②PBLに関すること

③特別支援教育に関すること

(MIM、ユニバーサルデザイン、ペアトレ、ビジョントレーニング)

※(2)については、(1)と併せて研究することも可能。



### 設置趣旨

戸田市の教育行政におけるEBPM（Evidence-based Policy Making）の推進の核とするため、これを専門的に担う人材から成る「教育政策シンクタンク」を立ち上げ、より効果的・効率的な教育政策の企画立案を行うとともに、市民への説明責任を果たす。

### 設置意義

教育委員会  
内部における  
基本的な  
調査分析機能

#### 主導性

教育政策全体のEBPMに関する構想の企画と実行を主導することができる。また、個々の研究者等との共同研究においても、本市にとってより効果的な形での連携を行うことができる。

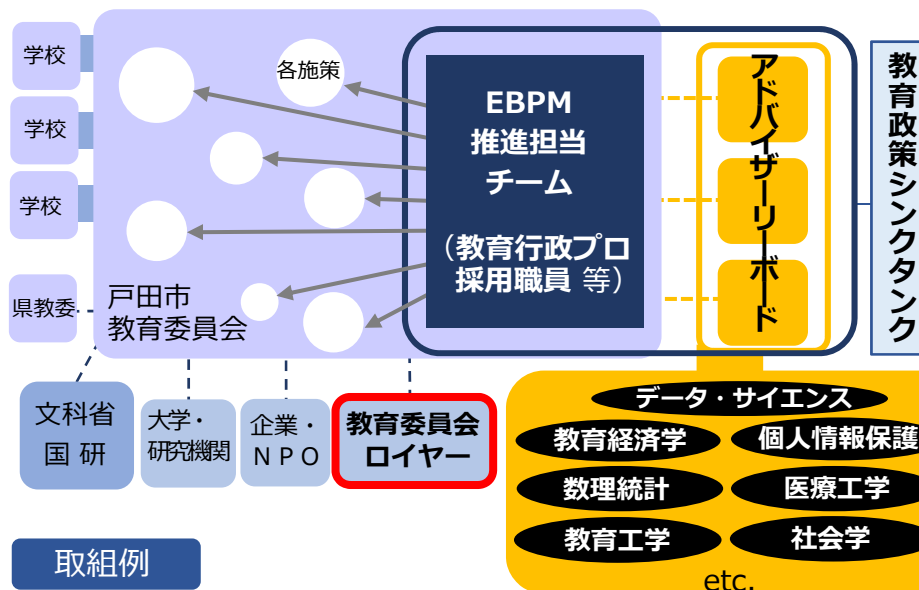
#### 機動性

外部研究者等との共同研究は一大プロジェクトとして行われることが多いが、自前の調査研究では、小さな規模のものも含め、より日常的に、機動的に行うことができる。

#### 実効性

本市における教育課題や個々の教育施策に直接結びつけた形での調査分析を行えるため、分析結果によるエビデンスをより実効的に教育施策に活かすことができる。

### 体制



#### 体制の3つのポイント

##### ○教育委員会内部のEBPM推進担当チーム

EBPMは担当チームが専属的に行うものではなく、教育委員会が所管するすべての学校教育施策の基本的な考え方として浸透し、教育委員会及び学校の職員全員によって実行されるものであり、EBPM担当チームがその推進役及びとりまとめ役としての立場を担う。EBPM担当チームは、事務職（教育枠）を含める教育改革の政策担当の職員が兼務する。

##### ○外部アドバイザーとの連携

産官学からEBPMの政策立案に優れた外部有識者を委嘱し、日常的なアドバイザーとして教育政策シンクタンクのメンバーとなっていただく。また、必要に応じて外部有識者によるアドバイザーリーボードを設置する。

##### ○産官学の外部機関等との連携

専門性の高い研究や規模の大きな研究等については、外部の知のリソースを積極的に活用し、産官学の外部機関との連携を行う。その際には、調査分析のデザインの調整について主体性を持って調整する。

### 取組例

- ・教育活動の多様な成果を多角的に分析するとともに、数値化できるデータ・調査結果のみならず、数値化が難しいものも含め、現場感覚をもった的確に状況を把握する。
- ・データの標準化や一元化（ワンソース・ワンマスタ）と二次利用促進（オープンデータ化）
- ・データの集約・提供体制等に関する改革の推進



# 戸田市教育政策シンクタンク研究員学校教育等実務研究

教育政策シンクタンク研究員は、調査研究等の実施のために市内小・中学校等において実務研究を行い、学校教育等の実際についての見識と理解を深めるとともに、その経験をその後におけるシンクタンクでの調査研究等に活かす。

## 戸田市教育政策シンクタンク



## シンクタンク所長 研究員

- ・ 研究員は、学校を最長6ヶ月、週1日程度訪問。派遣校の校長等の指導のもと、学校教職員等と協力し、実地調査、関係者へのヒアリング等を実施する。
- ・ 研究成果については、報告書を作成する。

アクティブ・ラーニング EdTech ICT  
プログラミング デジタル教科書  
PBL STEAM 特別支援教育 MIM  
EBPM オープンデータ  
PLD (パーソナル・ラーニング・データ)  
非認知能力 . . .



## 戸田市立小・中学校



# 報告事項

令和2年第2回教育委員会(定例会)

令和2年2月13日(木)

戸田市役所3階 教育委員室

# 1 報告事項

ページ

- ① 令和元年度小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会の実施について…………… 1  
(教育政策室)
- ② 戸田市立図書館運営協議会委員及び戸田市立郷土博物館協議会委員の市民公募予定について  
……………当日配付  
(生涯学習課)
- ③ 市民企画講座の実施報告について…………… 2  
(生涯学習課)
- ④ 市民大学公開講座の開催について…………… 6  
(生涯学習課)
- ⑤ 市内中学校の生徒指導案件について……………資料なし  
(教育政策室)
- ⑥ その他

令和元年度 戸田市小・中学校児童生徒  
プレゼンテーション大会の実施について

実施日時：令和2年1月25日（土）

13：00～16：00

実施会場：戸田市文化会館 大ホール

1 参加人数

児童生徒	保護者 一般	教育 関係者	来賓	計
116名	160名	53名	9名	338名

〈他県・他市町の参加者〉

- ・ 西会津町教育委員会

2 内容

- (1) 開会 来賓紹介
- (2) 発表 小学生の部  
中学生の部
- (3) スペシャルデモンストレーション  
株式会社キャリアリンク  
小池 紗也香 様
- (4) 審査結果発表・表彰
- (5) 閉会



3 結果

- 金賞 戸田東小学校  
喜沢中学校
- 銀賞 戸田第二小学校 笹目東小学校  
戸田東中学校
- 銅賞 笹目小学校 戸田南小学校 喜沢小学校  
戸田中学校



## 令和2年度 戸田市立図書館運営協議会市民委員募集要項

### 1 趣旨

戸田市立図書館運営協議会（以下「協議会」という。）における市民委員（以下「市民委員」という。）を募集します。なお、協議会は戸田市立図書館条例第8条の規定に基づき設置されており、図書館の運営に関して戸田市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応ずるとともに、教育委員会に対して意見を述べる機関として、教育委員会が設置しているものです。協議内容は、図書館の運営に関する事項です。

### 2 任期 令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

### 3 募集人数 1名

### 4 応募資格

別添の「戸田市立図書館運営協議会市民委員公募資格審査基準」のとおり

### 5 委員の報酬等

協議会に出席した場合、市で定める委員報酬等を支払います。

### 6 応募方法

#### (1) 提出するもの

①「戸田市立図書館運営協議会委員応募用紙」に必要事項を記載したもの。

②小論文「これからの図書館に期待することについて」（800字以内）

#### (2) 提出方法

①持参 戸田市役所本庁舎3階の生涯学習課

②郵送 戸田市立図書館へ送付

③電子メール tosyokan@city.toda.saitama.jp

なお、応募書類は返却しません。

### 7 応募受付期間

令和2年2月17日（月）から令和2年3月16日（月）までで期間内必着

## 8 応募書類の配布場所

○戸田市役所 本庁舎3階 生涯学習課

\*応募書類は、戸田市立図書館ホームページからダウンロードすることができます。

(<https://library.toda.saitama.jp/>)

## 9 選考の方法

「戸田市立図書館運営協議会市民員公募資格審査基準」により資格審査の後、御提出いただいた「戸田市立図書館運営協議会委員応募用紙」及び小論文をもとに、後日面接させていただきます。面接の日時・場所は、応募受付期間終了後、電話で連絡いたします。

## 10 その他

○協議会は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者、公募による市民の10人以内の委員で構成されます。

○協議会は年に2回程度、平日の昼間に開催します。

○応募書類に記載された個人情報、市民委員の選考以外の目的には使用しません。

## 11 応募書類の提出先・問合せ

戸田市立図書館（戸田市教育委員会生涯学習課図書館担当）

〒335-0021 戸田市新曽1707番地

電話 048-442-2802

## 令和2年度 戸田市立郷土博物館協議会市民委員募集要項

### 1 趣旨

戸田市立郷土博物館協議会（以下「協議会」という。）における市民委員（以下「市民委員」という。）を募集します。なお、協議会は博物館法第20条の規定に基づき設置されており、博物館の運営に関して館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、戸田市教育委員会が設置しているものです。協議内容は、郷土博物館（分館の彩湖自然学習センターを含む）の運営に関する事項です。

### 2 任期 令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

### 3 募集人数 1名

### 4 応募資格

別添の「戸田市立郷土博物館協議会市民委員公募資格審査基準」のとおり

### 5 委員の報酬等

協議会に出席した場合、市で定める委員報酬等を支払います。

### 6 応募方法

#### (1) 提出するもの

①「戸田市立郷土博物館協議会委員応募用紙」に必要事項を記載したもの。

②小論文「これからの博物館に期待することについて」（800字以内）

#### (2) 提出方法

①持参 戸田市役所本庁舎3階の生涯学習課又は彩湖自然学習センター

②郵送 戸田市立郷土博物館へ送付

③電子メール [hakubutu@city.toda.saitama.jp](mailto:hakubutu@city.toda.saitama.jp)

なお、応募書類は返却しません。

### 7 応募受付期間

令和2年2月17日（月）から令和2年3月16日（月）までで期間内必着

## 8 応募書類の配布場所

○戸田市役所 本庁舎3階 生涯学習課

○彩湖自然学習センター（みどりパル）

\*応募書類は、戸田市立郷土博物館ホームページからダウンロードすることができます。  
(<https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/377/>)

## 9 選考の方法

「戸田市立郷土博物館協議会市民員公募資格審査基準」により資格審査の後、御提出いただいた「戸田市立郷土博物館協議会委員応募用紙」及び小論文をもとに、後日面接させていただきます。面接の日時・場所は、応募受付期間終了後、電話で連絡いたします。

## 10 その他

○協議会は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者、公募による市民の10人以内も委員で構成されます。

○協議会は年に2回程度、平日の昼間に開催します。

○応募書類に記載された個人情報、市民委員の選考以外の目的には使用しません。

## 11 応募書類の提出先・問合せ

戸田市立郷土博物館（戸田市教育委員会生涯学習課郷土博物館担当）

〒335-0021 戸田市新曽1707番地

電話 048-443-5600

## 報告事項③

### 市民企画講座 1 の実施報告

- 1 講座名 市民企画講座 1 「運動について学んで健康寿命を延ばそう！」
- 2 開催日時 令和元年 11 月 9 日（土）、11 月 30 日（土）  
14:00～15:30
- 3 講師 第 1 回：日本体育大学 教授 横山順一 先生（駅伝監督）  
第 2 回：(株)マナウエイ 代表 中村真奈子 先生
- 4 会場 教育センター 2 階会議室
- 5 受講者数 延べ 46 名

#### 6 講座について

本講座は、市民が企画した講座の中から市民大学運営委員会で採択されたものである。提出された当初の企画書を基に企画者と事務局が調整しながら講座を企画した。企画に際し、講師の選定に苦慮したが、企画者からの情報提供や包括連携協定を締結している日本体育大学の協力を得て今回の講師に依頼することができた。

講座当日は、企画者や運営ボランティア（受講者有志）らと協働して講座運営を行った。第 1 回目の講座の冒頭には、企画者から企画した思いを述べてもらった。

第 1 回の講座は座学形式、第 2 回の講座は実際に体を動かしながら健康寿命に関する運動について学ぶ内容であった。

受講者アンケート結果を見ると、回答者全員の理解度が高いことに加え、満足度についても平均 88% と高い評価であった。参加者の感想では、「新たな気づきをたくさんいただきました。健康第一で楽しく体を動かすことを続けようと思いました。」「全体的にとってもわかりやすかったです。」「講義と体操の両面で良い企画でした。」「大変参考になった。」などの感想が寄せられた。

#### 7 講座の様子

【写真 1】企画者から一言



【写真 2】第 1 回 横山順一 先生



【写真3】第1回 講義風景



【写真4】第1回 講義風景



【写真5】第2回 中村真奈子 先生



【写真6】第3回 講義風景



【写真7】講座受付風景



【写真8】講座準備風景





## 市民企画講座 2 の実施報告

- 1 講座名 市民企画講座 2 「子育て応援ワークショップ」
- 2 開催日時 令和元年12月8日（日）、12月15日（日）、12月22日（日）  
10：30～正午
- 3 講師 第1回： 望月彩恵 先生  
第2回： パパとコ 代表 森川寛信 先生  
第3回： NPO 法人パパ・イングリッシュ 代表 清水祐介 先生
- 4 会場 上戸田地域交流センター（あいパル）多目的室
- 5 受講者数 延べ18名

### 6 講座について

本講座は、市民が企画した講座の中から市民大学運営委員会で採択である。提出された当初の企画書を基に企画者と事務局が調整ながら講座を企画した。

今回は市民大学の講座としては珍しく、「子育て世帯」対象にした講座であり、「子育てプラン」を考える全3回の講座であった。託児付にしたが、3週連続で3回にわたって「子育てプラン」を考えるという点で参加障壁が高くなってしまった印象がある。また、講座の周知については、通常の公共施設に加えて子育て世帯が利用する施設でも周知したが、思っていたよりも申込みが少なかった。その後、保育園や幼稚園にも周知を行ったが、周知期間に余裕がなかった点が反省点である。

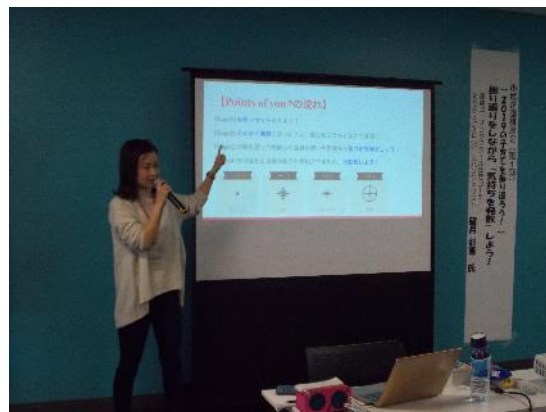
受講者アンケート結果を見ると、平均72%の評価であった。参加者の感想では、「このような講座の機会を増やしてほしい。」「周りの考え等が聴けて自分自身の発散もできましたし、たくさん勉強になりました。これを機にいろいろと試していきたいと思いました。」といった感想が寄せられた。

### 7 講座の様子

【写真1】 企画者から一言



【写真2】 第1回 望月彩恵 先生



【写真3】第1回 講義風景



【写真4】第1回 講義風景



【写真5】第2回 森川寛信 先生



【写真6】第2回 講義風景



【写真7】第3回 清水祐介 先生



【写真8】第3回 講義風景



【写真9】託児の様子



【写真10】託児の様子







令和元年度

# 戸田市民大学 公開講座

報告事項④

## 『私とオリンピック』

～バレーボールで銅メダルを獲得したロサンゼルス五輪から  
バスケットボールで出場権を獲得した東京五輪2020までの挑戦

(公財) 日本バスケットボール協会会長  
元全日本バレーボール選手

# 三屋 裕子 氏



### と き

令和2年 **3月14日** (土)

午後**2時**～**3時40分**

受付：午後1時30分/市民大学閉講式：午後2時～2時10分

### と ころ

新曽福祉センター ホール  
(新曽公民館)

### プロフィール

福井県勝山市出身。中学からバレーボールを始め、八王子実践高から筑波大学へ進学。1979年に全日本入り、後日本代表の軸として活躍し、ロサンゼルスオリンピックでは、銅メダルを獲得した。

オリンピック後は、かねてからの夢であった教職の道に転身。バレーボールの普及にと、バレーボール教室、講演会のほかCMなどでテレビやラジオに出演。

現在は、(公財)日本バスケットボール協会会長を務めるなど幅広い活躍をされている。

## 参加費無料

定 員  
対 象  
申込方法

300人  
市内在住・在勤・在学者

令和2年2月3日(月)から受付を開始します。先着順。

講座名、氏名、電話、年代、市内在住・在勤・在学のいずれかを明示の上、メール、電話、FAXにてお申し込みください。



**申込締切:令和2年3月10日**

※特別な配慮が必要な方は申込時にお申し出ください。

お申し込み  
お問い合わせ先

教育委員会生涯学習課(戸田市民大学事務局)

電話 048-441-1800 (内線342、466) FAX 048-432-9910  
メール kyo-syogaigaku@city.toda.saitama.jp



お申込みはこちら